

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」はくさん校			
○保護者評価実施期間	2025年11月24日		～	2025年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	2025年11月24日		～	2025年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員は、さまざまな年齢層と経験をもつ児童指導員が在籍しています。音楽を得意とする職員がおり、支援やお楽しみの活動に取り入れています。職員の強みを生かして、様々な内容で不定期の小集団イベントを実施しています。	音楽を得意とする指導員を中心に歌やリズム、楽器遊びを通して、手指機能向上・表現力やコミュニケーションの力を育む小集団イベントを実施しました。イベントの内容に応じて同年代や異年齢の交流ができる場面を設定し、交流の形を意図的に設定することで、お子様の社会性・協調性・自己肯定感の育成を多角的に支えることを意識しています。	音楽を聴いて体を動かすリトミック活動も今後検討し、お子様がより楽しく課題や活動に取り組み、お子様の様々な可能性を広げていけるようにします。また、事業所の取り組みを周知するため、活動の内容についてInstagramやブログ等も用いて情報発信していきます。
2	お子様の支援は取って代わり制を取らずに、様々な職員が多視点からの支援ができるように体制を整えています。	職員間でこまめに支援会議を行い、お子様や保護者様の状況についても綿密なコミュニケーションを取っています。ひとりひとりのお子様に合わせた教材準備を行い、より楽しく専門的な支援ができるように配慮しています。	近隣校舎のSTやPT等の専門職のスタッフと情報共有を行い、より専門的な支援が行えるようにプログラムを考えて取り組んでいます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	校舎が狭く、老朽化も見られます。悪天候の際には2階へ続く階段の途中で雨漏りもあります。(修繕依頼中) 見た目も良くなく、階段昇降の際に危険が伴うことも考えられます。	建物自体が古く、老朽化とされます。	建物自体の老朽化によるものが原因と考えられるため、修繕改修などの対応を検討しています。
2	2階が主な支援スペースとなり、お子様の年齢や障害特性などから階段昇降が難しく、支援スペースまでの行き来がしにくいことがあります。	1階の玄関前スペースは人の出入りも多く環境的に落ち着かないことが考えられます。また、玄関とフロア間に段差があり、お子様が段差による落下もしくは怪我の恐れもあるため、2階で支援を提供せざるを得ない状況があります。	階段昇降の際には、年齢に関わらず必ず職員が付き添うようにしています。年齢や特性などから階段昇降が特に大変なお子様には特に注意をし、必ず職員が後から登り、先に降りるようにして事故を未然に防ぐようにしています。1階の支援スペースでは幼児や多動傾向のお子様の支援はしないように配慮しています。
3	現状、保育士やST・OT・PT等の専門職員が配置されていないため、専門的な支援に関しては、知識や経験の面で今後さらに充実させていく余地があると考えられます。	支援の質が個々の職員のこれまでの経験や感覚に左右されやすく、専門的な根拠に基づいた統一的な支援につなげにくいことが考えられます。	保護者様の同意を得た上で、近隣校舎の専門職員と情報共有を行い、支援内容について助言をもらいながら専門的な支援を行っています。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」はくさん校				公表日	2026 年 2 月 14 日	
		利用児童数				10		回収数
						10		10
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1	1	0	・スペースは十分ではありませんが、最低限は確保されていると思われます。 ・1階の待合スペースが狭く感じられます。	お子様の特性や活動に合わせたスペース確保の工夫を行い、安心した環境で過ごせるように配慮いたします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1	0	0	担当の職員がフィードバック中に、他の職員が子どもと遊んで待っていてくれます。たまに見守る職員がいない場合もあり、充分でないと思うこともあります。	法令を遵守し必要人員を配置しています。今後も、お子様や保護者様が安心安全に過ごせるよう必要人員を継続して配置してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	2	2	2	階段が急で狭いと感じます。	お子様の特性に合わせて支援場所を載せて固定したり、パーテーションを使って視覚的情報を制限したりすることなどを今後も行っていきます。また、階段昇降の際には事故を未然に防ぐ対策をとっていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1	1	0	建物自体が小さく狭いと感じることがあります。	ホワイトボードや家具の配置を工夫し、空間を安全かつ有効に利用できるようにしていきます。また、感染症予防の観点からも、清掃及び消毒を今後も継続して行っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0		お子様の特性とともに、性格や年齢なども考慮して今後も対応させていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0		お子様や保護者様が安心してご利用いただけるよう、相違の無いように支援を提供してまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		お子様や保護者様のニーズをしっかりと聞き取り、満足していただける個別支援計画を今後も作成してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	0	0	0		ガイドラインに則り、お子様への支援はもちろん、ご家族の方も含めた支援の計画を今後も作成してまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		個別支援計画に沿った内容の支援を行うとともに、必要に応じて新しい活動も取り入れております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1	0	0		支援プログラムが固定化されないように、事業所で検討する機会を今後も作ってまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	2	3	・まだ利用して間もないので、そのような機会があるか分かりません。 ・我が子にそのような機会を望んでいません。	通所いただいているお子様の特性からも、初めてのお子様との関わりが難しいこともあり現状機会がありません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		契約時に書面を見ていただきながら保護者様にご説明しています。今後も丁寧な対応を心掛けてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		個別支援計画を都度保護者様にお見せすることとはしていませんが、お子様への支援内容はフィードバック時に詳しくお伝えしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	0	2	まだ利用して間もないので、そのような機会があるか分かりません。	家族支援プログラムは現在行えておりませんが、今後検討してまいります。実施の際は保護者様に分かりやすく周知してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0		保護者様にフィードバック時にお子様のご様子をお伝えし、共通理解ができるように配慮しています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1	0	1	まだ利用して間もないので、そのような機会があるか分かりません。	お子様や保護者様の様子を見て、面談のお声がけをさせていただいています。各職員が経験や知識を持って相談対応を行っています。また、保護者様がいつでも安心してご相談いただけるよう、随時面談の機会を設けていることを周知していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		お子様の自己肯定感が育まれていくように、否定ではなく肯定する対応を今後も意識して行なってまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	1	4	・以前にママカフェの案内をもらったことがあります。 ・まだ利用して間もないので、そのような機会があるか分かりません。	ママカフェなどの保護者様の集いの機会を不定期で行っており、今後も検討してまいります。保護者同士の交流の機会を設けた際には、保護者様に分かりやすい方法で周知していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	1	まだ利用して間もないので、そのような機会があるか分かりません。	お子様や保護者様からの相談には迅速かつ丁寧に対応するように意識しております。今後もお子様や保護者様に寄り添った対応を心掛けてまいります。保護者からのご相談に随時対応できる体制があることについて、積極的に周知を行っていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0		お子様や保護者様とのコミュニケーションにおいては、言葉だけで伝わりにくい場合には文字に起こして提示しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	0	1		事業所の自己評価を毎年行い、ホームページに掲載しています。ブログやSNSでイベントの様子等を発信しています。今後も継続してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	2		鍵付きロッカーの中に厳重に保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	2		法令やガイドラインに基づき訓練を実施しております。マニュアルや訓練について周知・説明の機会を設けていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2	0	3	まだ利用して間もないので、そのような機会があるか分かりません。	毎月計画的に非常災害を想定した訓練を実施しています。訓練時に避難ルートの確認もしています。訓練の記録を掲示して周知を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	1		ケガや事故の可能性を常に考慮し、危機意識を持って日々対応してまいります。計画についても周知できるように配慮いたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	0	3	事故等は発生したことがありません。	お子様にケガがあった場合には大小問わず、保護者様への状況説明や謝罪、今後の対応についての説明を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		今後もお子様や保護者様が安心して通っていたできるように、環境整備してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	2	0	0		お子様が楽しく活動でき、かつ居心地の良い場所となるように、ひとりひとりに合わせたサービスの提供を心掛けてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0		現状に満足せず、ご利用いただいているお子様や保護者様からよりご満足いただけるように、今後も事業所で話し合っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」はくさん校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションでスペースを区切り、落ち着いて過ごせる環境設定をしています。	年長児用の机が1台しかないので、適切な支援環境提供の為にもう1台配置することを検討します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令やガイドラインに基づき適正な人員を配置しています。	常に職員の目が子供たちに届くよう、連携を取りながら運営していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・保護者駐車場の台数が3台の為、使用状況を見て、お迎えの時間調整等の工夫を行っています。 ・階段の昇降の際は、必ず職員が階段下側に立つようにして安全に配慮しています。階段に滑り止め、手すりが設置されています。	2階に支援スペースがある為、お子様の年齢によっては階段昇降が危ない場合があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃を定期的に行い、清潔を保つことを意識しています。	2階に支援スペースがある為、階段昇降がお子様の年齢によっては危ない場合があります。劣化が見られる箇所は、修繕を進めていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションでスペースを区切り、落ち着いて過ごせる環境を整えています。	クールダウンできるスペースが足りない時があるので、今後スペースを作っていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		業務について職員全員で話し合っています。支援目標について都度共有を行い、内容を振り返り、改善点も検討しています。	今後も継続して業務改善に繋げていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		法令やガイドラインに基づき年に一度、保護者より事業所評価をしていただいています。結果について事業所で話し合いを行っています。	今後も継続して業務改善に繋げていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼・終礼の時間や、事業所内ミーティングの時間を確保し、話し合いの場を設けています。	今後も継続して業務改善に繋げていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていませんが、今後検討し業務改善に繋げていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		支援のテーマ研修が毎月設定されています。他に不定期で階層別研修など、職員の資質向上を図るため定期的な研修の機会が設けられています。	今後も継続して、職員の資質向上に繋げていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムの作成、公表を行っています。	今後も法令やガイドラインに基づき、適切に支援プログラムの作成・公表を行っていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		お子様や保護者様のご要望や困り感などをアセスメントし、客観的な視点から個別支援計画を作成しています。	今後も丁寧なアセスメントを継続し、お子様、保護者様に満足していただけるように対応していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画作成会議を行い、職員全員の意見及び共通認識の上で作成しています。	個別支援計画作成会議を行うために十分な時間を取るために、見直しを持ってスケジュール調整をしていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画をよく確認し、支援内容を決定しています。	今後も職員間での共有を密に行い、計画に沿った支援を行えるように継続して対応してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子様の年齢に対する適応行動について標準化されたツールを用いて保護者様と面談を行い、日々のお子様の様子を意識して見守っています。	今後も継続して保護者様に満足いただけるように、丁寧に対応してまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づき作成しています。家族支援及び移行支援についてはお子様全員の個別支援計画に盛り込み、お子様だけでなく、保護者様にも同様にサポート体制を構築しています。	個別支援計画については、お子様ひとりひとりに合わせて今後も具体的な内容で作成していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		都度、指導員が協力してプログラムの立案を行っています。	チームでプログラムを立案するための会議の時間を充分にとることが難しい状況もあるので、見直しを持ってスケジュール調整をしていきます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		担当指導員が変わる毎に綿密に引継ぎを行い、個々に合わせたプログラムを立案し、お子様の情報共有を行っています。ルーティン化の為、意図的に固定化することもあります。	今後もお子様が前向きに活動に取り組むことができるように、工夫をしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育と不定期での小集団療育を行っています。	個別支援の中で培った知識や経験を持って小集団イベントを行います。今後は定期的な児発の小集団活動を検討していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼ではその日のご利用予定や対応方法などについて全員で共有しています。怪我及び事故に繋がらないように協力体制を組んでいます。	今後も職員全員で協力して取り組んでまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援で達成できたことや気になることについて、職員間で共有する体制が取れています。カルーン等のツールも用いて情報共有を行っています。	今後も職員全員で協力して取り組んでまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		お子様ごとに毎回の支援記録を作成及び保管をしています。お子様の成長に繋がるように、職員全員で共有できるようにしています。	今後も継続して業務改善に繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、適切な目標の見直しを行っています。モニタリングの内容を職員間で共有し、見直しを持って支援を行っています。	今後も継続して保護者様に満足していただけるように、丁寧に対応してまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や、普段直接支援を担当している児童指導員が参画しています。	今後もお子様の状況をよく理解した上で各種会議に参画していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		お子様のケースによってではありますが、地域の保健師や児童相談所などの関係機関と連携を取り、お子様や保護者様との情報を共有できる体制を整えています。	今後も関係機関との連携を図り、十分な支援体制を整えていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		SSTを通じて他者との関わり方を学ぶ支援に力を入れています。個別から小集団へ段階的に参加できるように支援を行っています。また、園の訪問を行い、園で活用できる配慮事項等を整理し情報共有を行い相互理解を図っています。	園訪問を計画的・定期的に行うことで、支援内容等の情報共有と相互理解を密に図っていきます。困りごとだけでなく、強み・成功体験・得意な関わり方を整理し伝達することで、インクルージョンの推進につながる支援を心掛けていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様より依頼があった際には支援情報提供書を作成し、保護者様を通して学校に情報共有を行い相互理解を図っています。	就学時の移行がスムーズに進むように、支援情報提供書を迅速にお渡しできる体制を整えていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとお子様の情報共有を行うとともに、お子様の支援において必要なことなどについて、助言をいただく機会がありますが十分ではないと思われます。また、近隣校舎のSTやPTに助言を受けながら、専門的支援を行っています。	専門機関からのアドバイスをいただき、今後もお子様・保護者様に適切な支援をしていけるように努めます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現状、地域のお子様と関わる機会は少ないですが、将来的に地域移行することを考え、地域の中での活動機会を検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃からフィードバックの時間やLINEでの連絡等を通して情報共有を行っています。	今後も継続して、保護者様に満足していただけるように丁寧に対応していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングは現状行っていませんが、お子様の支援見学をご提案し支援中のお子様の様子を見ていただくとともに共通理解が持てる機会を作っています。	主にフィードバックの時間に情報提供を行っています。ペアレントトレーニングを今後検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		事業所見学・無料体験を通してご利用意向をいただき契約に繋がった際には、左記の重要事項等について丁寧にご説明をしています。	今後も継続して、保護者様に満足していただけるように丁寧に対応していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング面談の際にはお子様の意向を年齢に応じた方法で聞き取りを行い、保護者様とも生活の中で感じる困り感等についてゆっくりお話をする時間を設けています。	今後も継続して、保護者様に満足していただけるように丁寧に対応していきます。



保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	個別支援計画を作成し確認をしていただく際には、保護者様の意向を元に作成したことや支援内容等について丁寧に説明し同意をいただいています。	今後も継続して、保護者様に満足していただけるように丁寧に対応していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	支援見学やお迎えの時間を早くしていただきお子様のご見学とお話をするをご提案し、面談を行う機会を積極的に設けています。	今後も継続して、保護者様に満足していただけるように丁寧に対応していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	現状、保護者やきょうだい同士で交流する機会は設けられていません。	以前行った「ママカフェ」のような機会を定期的に開催することを検討し、保護者様の困り感等について確認対応していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	保護者様から相談や苦情があった時には、速やかに連絡や面談調整を行い、迅速に対応しています。内容については、事業所内で確実に共有を行っています。	今後も継続して、保護者様に満足していただけるように丁寧に対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	LINE、ブログやInstagramを活用し、活動内容を発信しています。	発信は行っていますが、全員に届いていない現状もある為、広く周知できるような方法を検討していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	お子様の個人情報については、鍵付きロッカーの中にすべて保管しています。取り扱いについては事業所内のみとし、漏洩がないよう十分留意しています。	今後も細心の注意を払い、個人情報保護に万全を期していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	支援後のフィードバックを丁寧に行っています。聴覚的情報からの読み取りがやや難しい方には、視覚的情報を提示する等、特性に合わせて丁寧な説明を心がけています。	お子様、保護者様が理解しやすいように配慮し、今後も対応を継続していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	初対面の人との関わりや環境の変化が苦手な方も多い為、イベント等に地域の方を招待することは難しい状況も考えられる為、要検討と思われます。	地域に開かれた事業運営を図る為にできることを、今後検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	法令やガイドラインに基づき策定し、研修や毎月の訓練に参加しています。想定される状況に対しての行動について、全員で共通認識を図っています。	職員や家族等にも確実に周知し、実際の場面で適切に対応していけるように意識していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	法令やガイドラインに基づき計画策定し研修・訓練に参加しています。	今後も災害発生を想定した訓練を行い、実際の場面で適切に対応していけるように意識していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	現在、服薬が必要なお子様はいらっしゃいません。お子様の状況は常に確認しています。	お子様の身体的情報については、個人ファイルで確認するとともに、服薬や発作などの情報についても都度保護者様に最新の情報を確認するように取り組んでいます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食事提供は現在行っていません。小集団イベント等でおやつを食べる際には、都度保護者に内容の確認を取っています。	お子様の身体的情報については、個人ファイルで確認するとともに、アレルギー等の情報についても都度保護者様に最新の情報を確認するように取り組んでいます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	法令やガイドラインに基づき計画を作成し、研修・訓練に参加しています。	お子様を安全第一と考え、あらゆる場面を想定して訓練をしています。普段から事業所の環境に注意を払い、安全管理について確認を継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	お子様の安全の為、保護者様の緊急連絡先をお聞きし個人ファイルとは別に保管しています。万が一の場合には早急に連絡ができるように体制を整えご説明をしています。	お子様の安全確保について保護者様への周知を徹底し、安心して通所いただけるように今後も配慮して行きます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	事の大小に関わらず、ヒヤリハットの場面は記録に残すとともに事業所内で共有し、再発防止の為に必要なことを全員で話し合い検討する機会を設けています。	日頃から危機意識を持ち、お子様や保護者様が安心してご利用いただけるように、職員全員で意識していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	法令やガイドラインに基づき、定期的に研修に参加しています。職員のメンタルの状態にも配慮し、過度な負担がないように職務を分担しています。	お子様をお預かりしている責任を常に認識し、今後も意識して対応して行きます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	法令やガイドラインに基づき定期的に研修に参加し、組織で共通理解を図っています。個別支援計画に記載し、お子様や保護者様へ説明を行っています。	現状では身体拘束の必要があるお子様はいませんが、必要な場合には、お子様や保護者様へ丁寧に説明を行い、了承をいただいた上での適切な対応を検討していきます。